



たまはらっこ

～明るく たくましく 誠実に～ 令和7年12月24日発行



★全校道徳で考えた！



自分やまわりの人を大切にすること？

人権は、「人が人として、社会の中で幸せに暮らす権利」のことです。

玉原小では、12月1日から19日を人権週間として、学校全体で様々な取り組みました。そのスタートには、全校児童で1つのテーマを考える全校道徳を行いました。全校道徳では、1年生から6年生が集まった縦割り班で話し合いを行います。

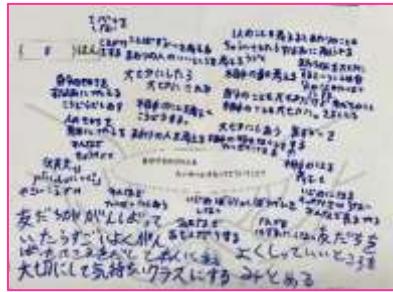
人権担当の平井先生から「人権とは…」という説明をして、みんなで考えるテーマ「自分やまわりの人を大切にすること？」を投げかけました。その後は子どもたちが自分たちのペースで話し合いを進め、教員はそれを見守ります。全校話し合いも回数を重ねてくると、気持ちがほぐれるのも早くなり、いろいろな意見が出てきました。上学年の子どもたちが気配りをしながら話し合いを進め、下学年の子どもたちが安心してたずねたり自分の考えを言ったりできる…そんな子どもたちの姿も多くみられ嬉しく思いました。

【話し合いをした子どもたちの感想】

- ・意見を沢山言ってくれて盛り上がった。 ・みんなが質問を言っていたのがよかったです。
- ・ほとんどの人が発表する人に注目してよく聞いていたのが良かった。
- ・4年生が1年生に対して何がある？と問い合わせてくれたことがよかったです。
- ・3年生や2年生が先に言おうとしていたのがよかったです。 ・6年生の意見がよかったです。
- ・みんながすぐに思いつかなくて困っていたときに5年生がたくさん意見を出してくれた。
- ・みんな学年関係なく話し合えていた。 ・どきどきしたけど自分の意見を言えた。
- ・下の学年から言っていた。緊張しても言っていたのはすごいことだと思った。

■ 班のまとめカードや振り返りから・・・ 自分やまわりの人を大切にするための 子どもたちの考え方を一部紹介します！

- 将来のために今からできることを取り組む。
- 熱くなりすぎずに、落ち着いて冷静に過ごす。
- ルールを守って、けがやけんかが無いように楽しく遊ぶ。
- まわりの人のいいところをよく見る。
- 自分のいいところを見つける。
- 嫌な話やいけない話に巻き込まれないようにその場から離れる。
- 自分の命、友達の命、家族の命、先生の命を大切にする。
- 危ないことをしていたら止める。
- 自分が正しい行動をする。
- けがをするような真似はしない。
- 言葉遣いに気を付ける。
- いじめのきっかけを作らない。
- ケンカを売らない、買わない。
- 人の物を壊さない、奪わない。
- けんかをしたら、仲直りをする。
- 自分がいやなことは誰にもしない。
- 嘘をつかない。
- あいさつをする。
- 勉強をする。
- 友達ががんばっていたら、声を出して本人に伝える。
- やり方が分からない人がいたら、教える。
- 上の学年になったら、下の学年をサポートする。
- 泣いている人や困っている人がいたら、「どうしたの？」
「何かあったの？」と声をかける。相談にのる。
- 自分の気持ちを素直に相手に伝える。
- 注意されたら素直に考える。
- 自分のことは自分で守る。
- 危ないことをしない。
- 言葉を考えて話す。
- いじめ・暴力・暴言はダメ。
- ハツ当たりしない。
- 借りたらちゃんと返す。
- けんかをしていたら止める。
- ちょっとした気遣いが大事。
- 人を馬鹿にしない。
- 悪口を言わない。
- ありがとうを言う。
- ごめんなさいを言う。
- 運動をする。
- 当たり前のことをする。



学校で一緒に過ごす友達や大人・・・自分も含め、その一人一人がとても大切な存在です。

そして、そこにいるだれもが、幸せに生きる権利「人権」を持っています。みんなが、そのことをしっかりと意識して、考えて行動すれば、きっと安全安心で楽しい学校になるはず。

また、だれもが抱える不安や不満に負けず、心穏やかに暮らすためには、自分の中に「幸せを感じる心」や「感謝する心」を育てることが大切です。

人権週間が終わっても、安全安心で楽しい学校を目指して、子どもたちに関わり続けます。

★2学期もたくさんの方に支えていただきました。ありがとうございました。



2学期も地域の方、保護者の方をはじめ、地元の企業や行政の皆様、たくさんの方々に子どもたちの成長を支えていただきました。

本当にありがとうございました。



冬休みも引き続き、地域での子どもたちの見守りをお願いいたします。

1月7日（水）の始業式には、また、元気な子どもたちに会えるのを楽しみにしています。

それでは、よい年をお迎えください！

